

山形市立第九中学校

令和8年度

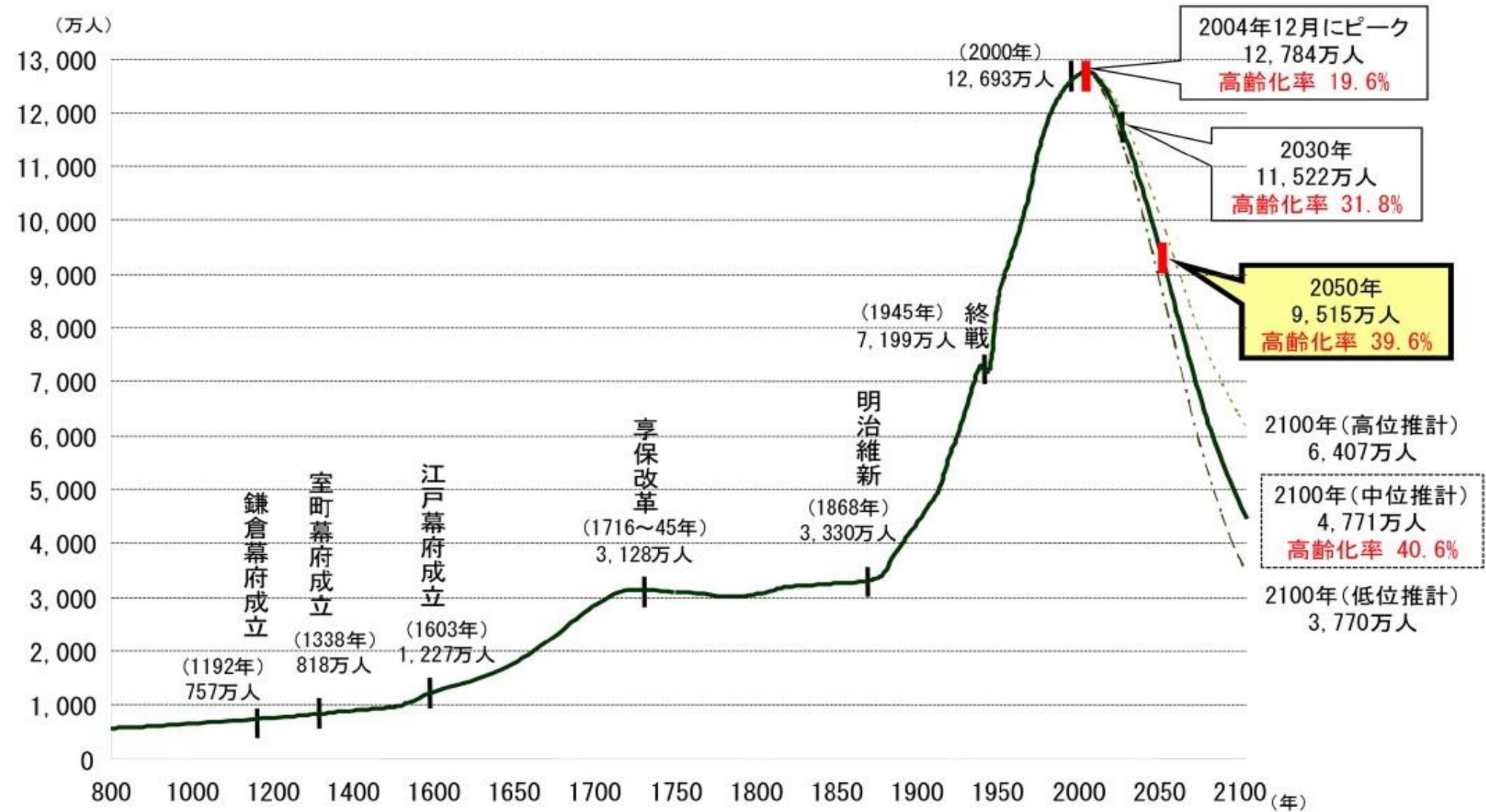
新入生保護者説明会

令和7年12月5日(金)

校長 土井 正路

我が国における総人口の長期的推移

○ 我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でもみても類を見ない、極めて急激な減少。



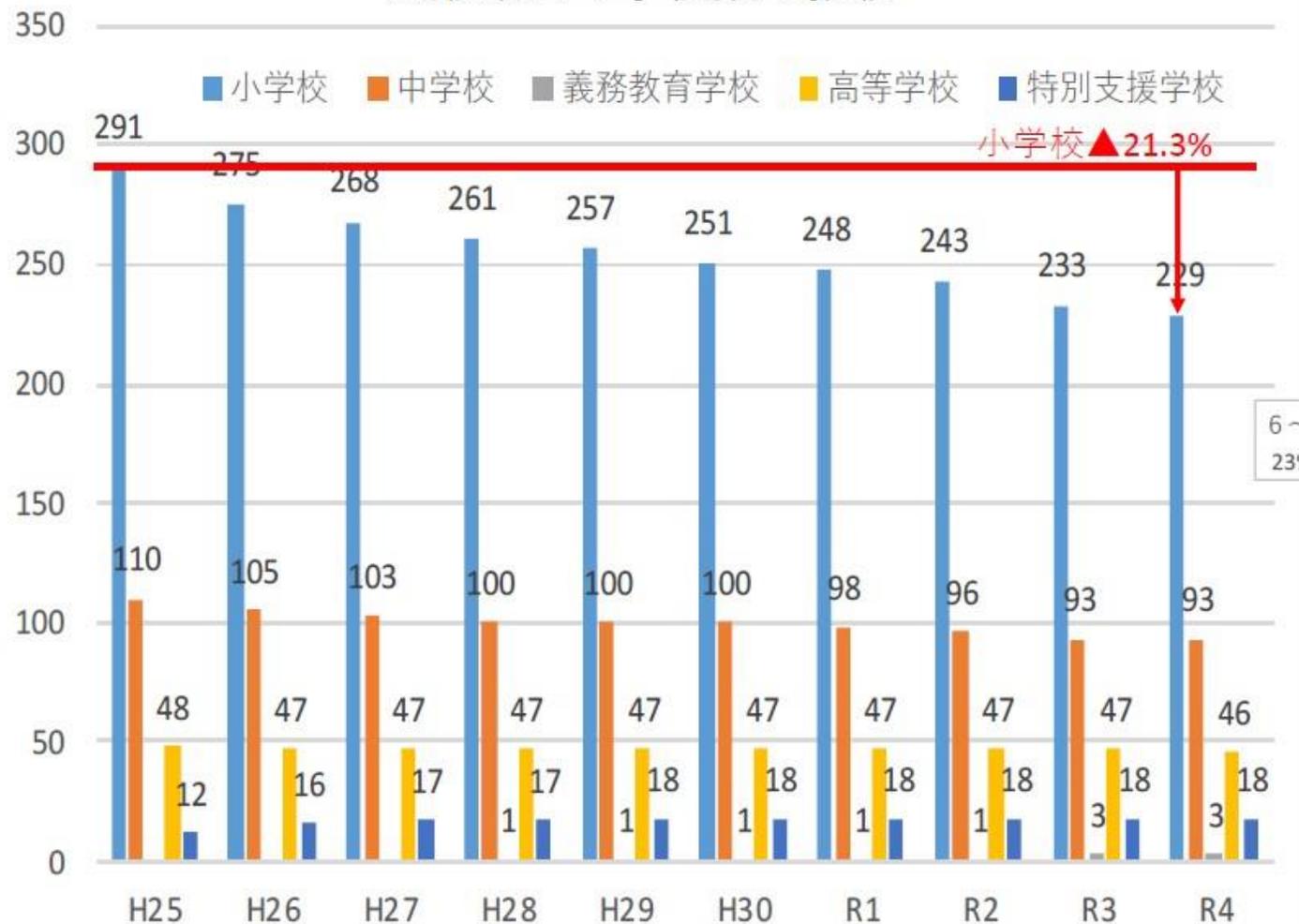
出典「国土の長期展望：中間とりまとめ」概要（平成22年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会）

0 本県教育を取り巻く社会経済状況（2040年頃を見据えて）

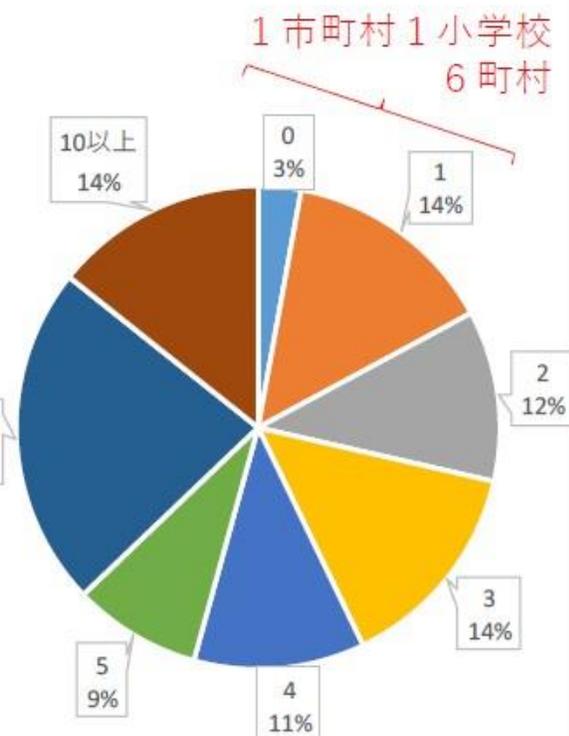
【学校数の減少】

- 本県の学校数は小学校、中学校、高等学校では減少傾向。特に小学校はここ10年で2割超の減少。
- 市町村の小学校数は半数以上が5校以下で、1市町村1小学校は6町村。（戸沢村（義務教育学校）含む）

山形県内の学校数の推移



各市町村の小学校数（R4）

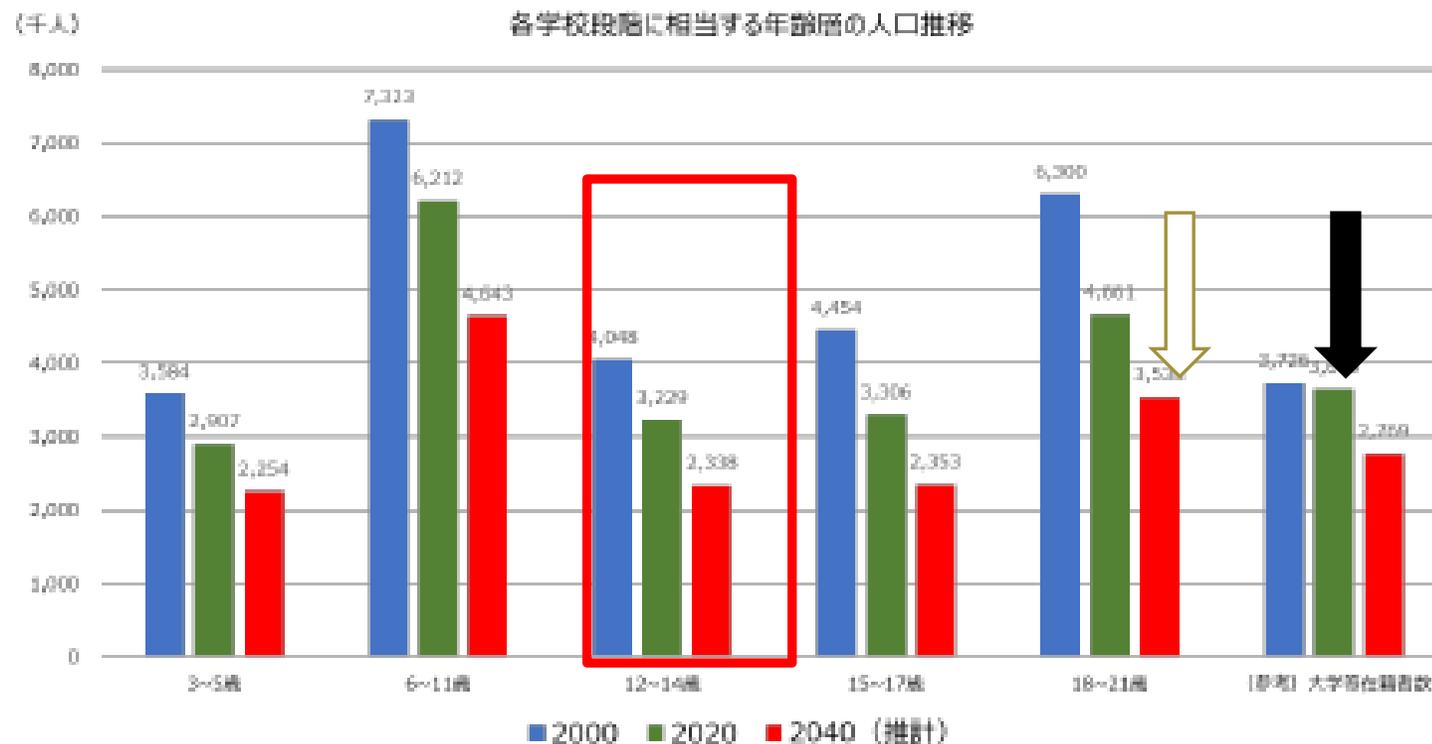


※今後も統廃合、義務教育学校化が進む見込み

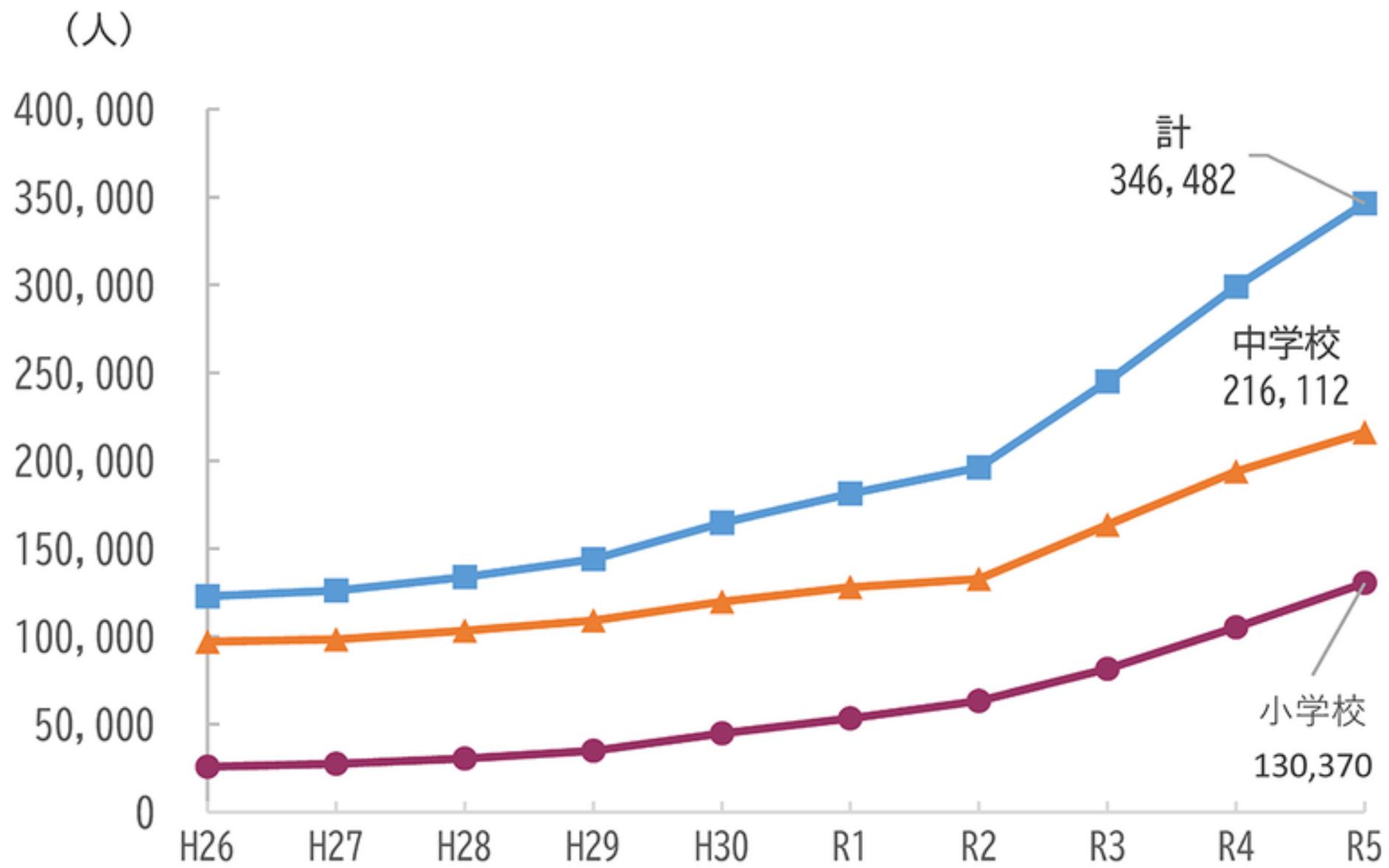
社会の現状や変化

各学校段階相当年齢人口の推移

各学校段階に相当する年齢層の人口は大幅に減少を続ける見込みであり、2000年から2040年にかけては各段階とも人口が約4~5割減少する。18~21歳人口は、中位推計でも2020年の大学等在籍者数を下回る水準まで減少することとなっている。



不登校児童生徒数の推移



大学入試制度 (2025～ 新課程入試)

私立大は57% 全体では53.6%が
共通テスト以外の方法で入学

共通テスト以外の主な入試方法

1. 総合型選抜(旧AO入試)

小論文、面接、プレゼンテーションなどを通じて、思考力・表現力・主体性を評価する方式。

2 学校推薦型選抜(旧推薦入試)

高校での成績(評定平均)に加えて、探究活動や課外活動の実績も評価 推薦書や面接

3 専門学部による独自選抜 芸術系やスポーツ系などでは、実技試験やポートフォリオ

4 探究活動の成果を活かす入試 新課程では「総合的な探究の時間」での学びをプレゼン

など

山形県の高校入試 2026年入試

入試方法も大きく変化

公立

出願は今年度よりWEBで

前期(特色)選抜

1月20日 もしくは2月3日

後期(一般)選抜

3月7日

特色選抜で定員の何パーセントとるかは各学校のホームページ参照

前期(特色)選抜の例

1月20日 もしくは2月3日

A高校

個人面接と発表(プレゼン)

+ 調査書

B高校

個人面接+作文

+ 口頭試問

+ 調査書

VUCAの時代、唯一の答えのない、
予測困難な時代を生きる子供たちに
どのような力をつけていけばいいのか。
常に教職員も学び続けています。

地域(含む幼・小)にもしっかりと
学校の方針をお伝えし、ともに
子どもたちの学びを育んでまいります

保護者の皆様方にもご協力をお願いします

本校の教育目標

- **自主自律**

- **創造**

- **共栄**

- **自ら行動する九中生**

- **考え努力する九中生**

- **お互いを敬う九中生**

めざす学校像

- 学ぶ楽しさのある学校
- 可能性を引きだす学校
- 地域とともにある学校
- 共感と協働のある学校

4つの合い言葉(2006年度より)

- **あいさつの九中**
- **花に囲まれた九中**
- **合唱の九中**
- **ボランティアの九中**

「守る」より「見守る」

- 子どもが失敗しないように先回りするのではなく、うまくいかなくとも

自分で考えて行動できるように

- 子ども自身が考える、自分で決める、自分でコントロール・調整する

試行錯誤する この機会をうばわないようにしたいものです。

- 必要以上に子どもさんに干渉していませんか。

過保護になりすぎていませんか。

手を放して、目を離さない、心を離さない

健康に悩んで成長

- 思春期に入り、様々な葛藤や悩みを持つ時期です
 - 悩みを壁をなくすことに手を貸すのではなく、健康に悩めるように支援する

九中の教育

- 「学校は子どもの今を預かり、子どもの未来を語る場」

3年間は短いですが、お子様のより良い成長を願い、九中の教職員全員で教育にあたります。



確かな学力

知（智）

知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力など

〔生きる力〕

自らを律しつつ、
他人とともに協調し、
他人を思いやる心や感動する
心など

徳

豊かな人間性

たくましく生きるための
健康や体力

体

健康・体力

本校の教育計画の重点

①個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を

目指した**授業**

→ ICTを日常的に利活用し、学びの質を高めます

教員も学び続けます

④**相談できる力**を育てます。困ったときに一人で抱え込まないように「助けて」といえる力を育てていきます。

重点①

ICTを有効に利活用した「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を図り、自律した学び手を目指す

教育DXに向けたさらなる推進

情報活用能力の育成

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

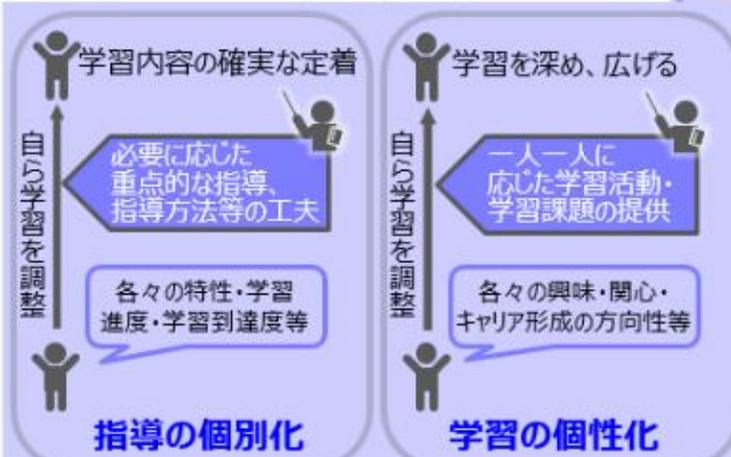
学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実
授業外の
学習の改善

資質・能力の育成



個別最適な学び（教師視点では「個に応じた指導」）

修得主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 ・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視
の考え方を生かす

協働的な学び

異なる考え方が組み合わせり
よりよい学びを生み出す

多様な
他者と協働

一人一人の
よい点・可能性

クラスメイト
異学年・他校の子供
地域の人
専門家
等

一体的に
充実
授業外の
学習の改善

協働的な学び

修得主義
・集団に対して共通に教育を行う ・一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含
の考え方を生かす

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」（令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

新たな教育振興基本計画 (令和5年6月16日閣議決定) のコンセプト

持続可能な社会の創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
- 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成



日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
- 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む



5つの基本的な方針



グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
- ・支援を必要とする子供の長所・強みに着目する視点の重視、地域社会の国際化への対応、多様性、公平・公正、包摂性 (DE&I) ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・ICT等の活用による学び・交流機会

- ・主体的に社会の形成に参画
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等
- ・留学等国際交流、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進



誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進



- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

- ・GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等を推進
- ・教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進
- ・デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進



計画の実効性確保のための基盤整備・対話



- ・学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進、ICT環境の整備、経済的・地理的状况によらない学びの確保
- ・NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、児童生徒等の安全確保
- ・各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

強みと好み

- **強み**は 学校でみつけやすい
- **好み**は 家庭でみつけやすい

学校と家庭で強み と 好み を共有し、一人ひとりの可能性を伸ばす

令和8年の中学総体後から学校の部活動が変わります。





来年度からの部活動について

- 市内すべての中学校で部活動が任意加入となります
- 平日の部活動はなくなりません
- 中学総体(中体連大会)・新人大会はなくなりません
- R8年度総体後の土日休日の部活動は学校単位では行いません。

任意加入になると……

全員が部活動に加入する必要はありません。

これまで外部のクラブや団体に活動していた人

→校外活動部としていましたが、部ではなくなります。つまり、顧問の先生はいません。
中体連大会に出場する場合は、各地域クラブからの出場となります。

部活動の「地域移行」から「地域展開」へ

部活動改革実行会議 最終とりまとめ（案）より

これまで使われていた「地域移行」という言葉が、今回から「地域展開」へと変更されました。違いを一言でいうと、

「地域移行」

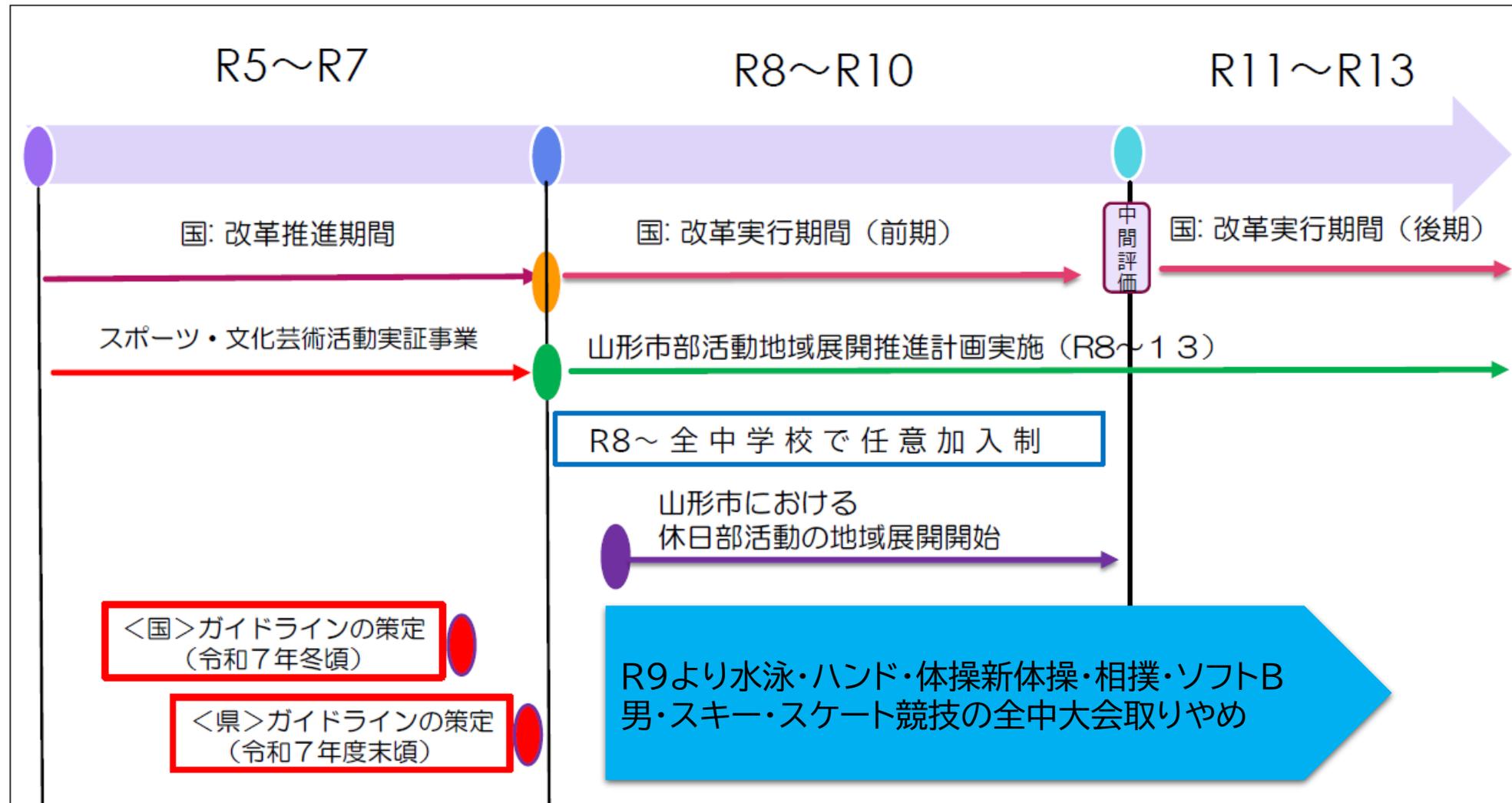
学校から地域へ“移す”というイメージ

「地域展開」

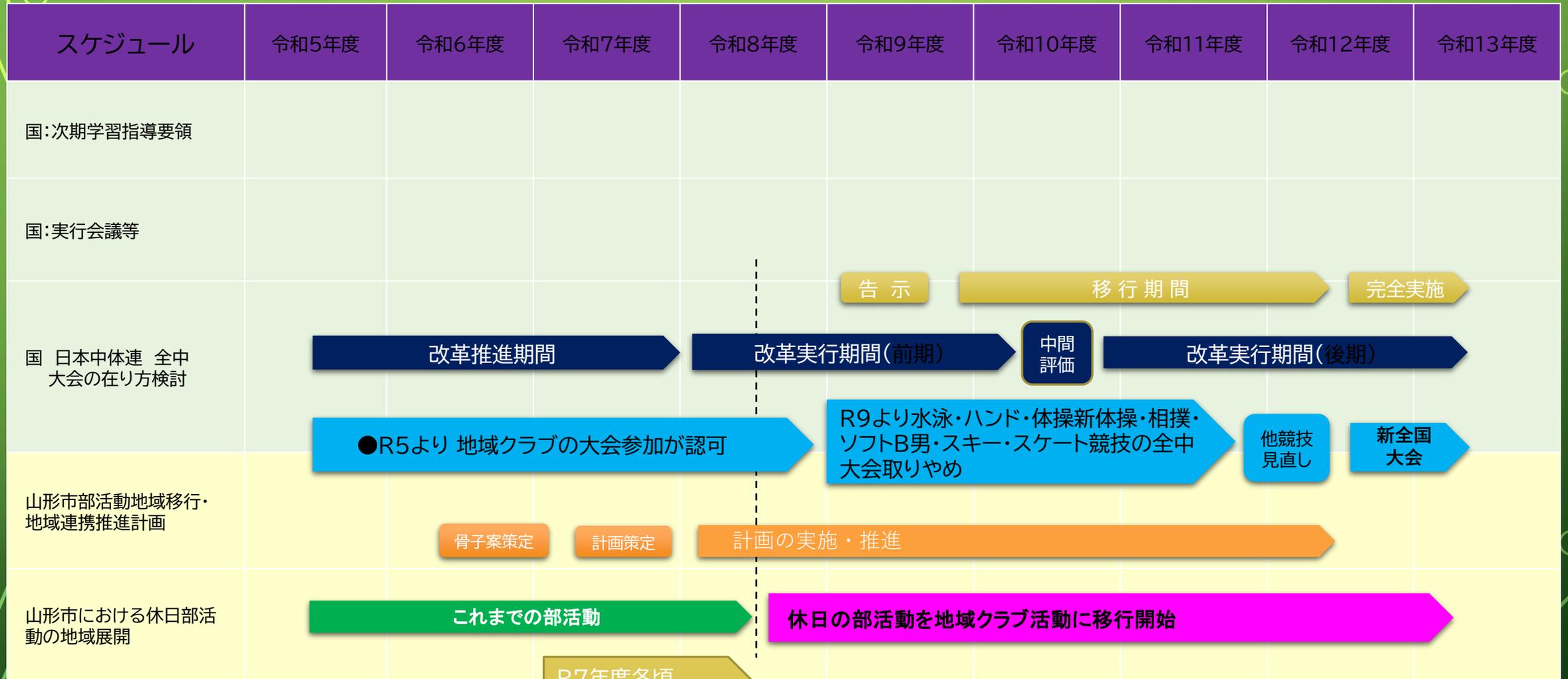
地域全体で“支える・広げる”という考え方

これまでの「地域移行」という言葉には、「学校から地域へ」と分断するような印象があった。これからは、学校・家庭・地域が一体となって生徒の活動を支えていくという考え方が大切です。そのため、「展開＝広がり」のある言葉にかえられた。

国・県・山形市の動き



(1) 山形市の基本的な方向性



令和8年度から休日の活動環境が変わります！

山形市では、**令和8年度**の中学校3年生が部活動から離れるタイミング（1・2年生が主体の新体制に切り替わる時期）で、**休日の部活動を地域に移行**し、休日の部活動は原則行わないようにしていきます。

ただし、上記のタイミングでの地域移行が困難な場合は、**地域連携の対応**をとるなど、地域の実情に応じて、可能な限り早期の地域移行を目指していきます。

令和8年度		現年度 (令和7年度)
中学3年生	←	中学2年生
中学2年生	←	中学1年生
中学1年生	←	小学6年生

R8市中総体後の新人大会、中体連大会前の休日の練習試合などは？

- 現在、練習試合やスポーツ教室の持ち方について市全体で検討中

練習試合について

九中△部として活動することもできる

中体連大会の○日前の土曜日・日曜日は練習試合実施可能というふうになる予定です

スポーツ教室も年●回実施などとなります

山形市における部活動の地域展開に向けて

令和8年度からの部活動の考え方について

● R8年度から、

- ① R7年度中に、全中学校において、学校に設置している部活動の加入は、任意加入制となる。
- ② 3年生が部活動から離れる時期に、休日の部活動を地域に移行し、休日の部活動は原則行わない。
※ 但し、上記のタイミングでの地域移行が難しい場合は、特例として地域連携の対応をとる。
- ③ 平日の部活動については、休日部活動の進捗状況や国・県から示される方針等を鑑みながら、今後、さらに検討していく。

※ 教員が休日の部活動指導に携わらない環境を整備していく。

※ 休日のスポーツ・文化芸術活動の指導を希望する教員は、一定の要件を満たした場合、兼職兼業の許可を得て地域クラブ活動の指導に従事することができる。

● R7年度は、各学校の方針のもとこれまでの休日の部活動が実施されるが、

- 各中学校においては、「休日の地域クラブ活動等」の環境づくりの橋渡しをお願いする。

※ 5月実施の本市実態調査をふまえて、

(働きかけ)

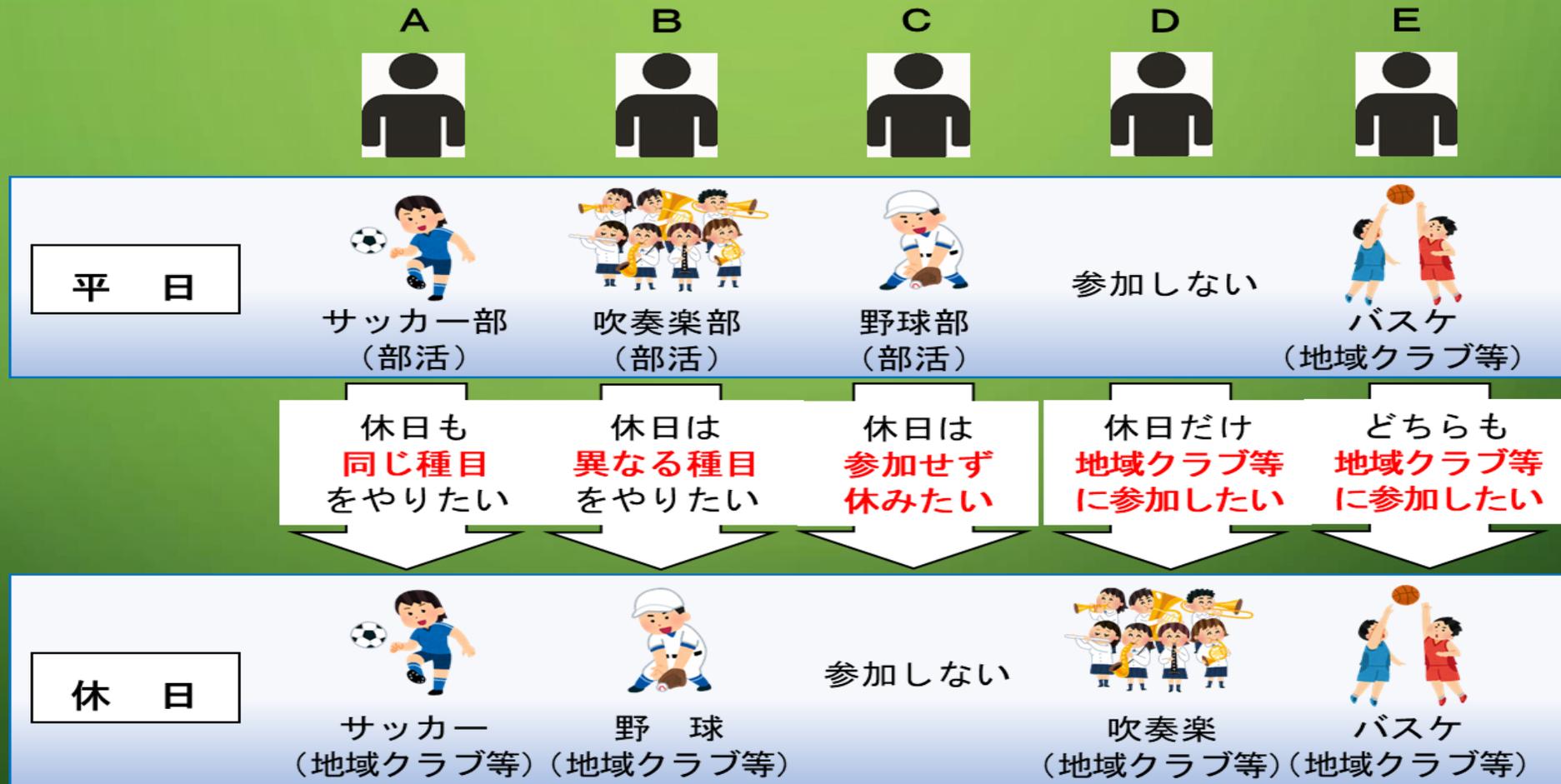
既存の地域クラブ活動の状況・外部指導者(地域指導者等)の有無を把握し、休日の地域クラブ活動への移行の可能性を探る。

○ 国として、地域クラブの定義・要件や認定方法、会費等の目安等を示すこととし、地域実情にもとづきながら地域クラブ活動への取組みを進めていく。

○ 現在、地域クラブの登録制度、活動場所の確保、施設の減免、公費支援、休日の大会参加、練習試合のあり方、さらに休日の校舎施設の利用等については、現在検討を進めている。

(2) 令和8年度からの中学生の活動イメージ

生徒の多様なニーズに応じて、A～Eのような様々な活動のパターンが想定されます。



山形市の地域スポーツ活動団体等一覧(山形市HP掲載例)

種目	No.	団体名	活動内容	主な活動場所	活動時間	担当者	問合せ先
陸上競技	1	NPO法人山形TFC	陸上競技 全般	ネッツえがおフィールド (変更がある場合はHPで 情報公開)	平日:(火~金) 17:45~19:30 休日:(日) 15:00~17:30	富樫・芦野	Tel ☒ その他
	バレーボール	2	山大クラブJr.	もっと上手になりたい、高校でも続けたいという“バレーボール大好き生徒”を対象に男女70名で活動しています。ベテラン指導者と大学生が個のニーズに合わせて丁寧に指導しています。	県立山形中央高校 第一体育館(4面使用)	原則 毎週土曜日 17:30~20:00	指導者代表 黒田 伸幸 山形大学男女 バレー部代表 佐藤 遥香
バスケットボール		3	クラブ山形	県中体連の地域クラブに登録認定済(中体連 主催大会に出場可能) 女子バレーU14(中学生カテゴリ)の各種大会出場のための練習 休日を中心に練習試合	山形四小体育館 山形明治小体育館 山形市内公的体育館	平日:18:30~21:00 休日:午前または午後の 3時間程度	事務局 鈴木 滋雄
	4	山形ワイヴァンズ アカデミー	バスケットボールスクール 山形ワイヴァンズユース	山形市内	週1回~4回 コースにより違うためお問い合わせください。	宮田 英治	Tel ☒ その他
	5	MEISEI MAD MAROONS	バスケットボールの練習及びリーグ戦への参加	山形明正高校体育館	毎週木曜日 19:00~20:30	小関 翔太	Tel ☒ その他
	6	Da-do(ダード)	女子バスケットボール(U-15)	山形市・上山市	月、水、木、日曜日 19:00~21:00	田崎 暁彦	Tel ☒ その他
	7	MAB academy	個人スキルアップ	山形市・寒河江市	18:00~21:00	柳川龍之介	Tel ☒ その他
8	HOOP MONSTERS	スクール活動個人スキルアップ選手育成クラブ活動各大会等に参加し、高校に向けて土台作りを行い全国大会出場を目指す。	山形市・上山市内	山形スクール(日) 18:00~21:00 新庄スクール(土) 18:00~21:00 クラブ(水金土日) 18:00~21:00	木村誠一	Tel ☒ その他	

山形市の地域文化芸術活動団体等一覧(山形市HP掲載例)

部門	分野	No	団体名	主な活動内容	主な活動場所	主な活動時間	代表者 又は 担当者	連絡先
文学	短歌	1	山麓短歌会	短歌指導	学校、コミセン等	1～2時間	結城 晋太郎	TEL FAX ☒
	俳句	2	胡桃俳句会	俳句の基本、実作の指導等	市内公民館等	放課後、休日	鈴木 正子	TEL FAX ☒
	俳句	3	椅子俳句会	俳句研究と句会開催	小姓町東前稻荷神社集会場	第3金曜日 13時30分～16時	戸田 正宏	TEL FAX ☒
	俳句	4	山寺俳句塾	俳句の講座、奥の細道の勉強会	山寺芭蕉記念館	毎月第3火曜日 13時30分～15時30分	武田 菜美	TEL FAX ☒
音楽	邦楽	5	山形三曲協会	箏の体験、尺八の体験	公民館及びコミセン等	適宜(要相談)	安達 薫綾	TEL FAX ☒
	洋楽	6	合唱団じゃがいも	合唱	市内公民館	土曜日 19時30分～21時30分	鈴木 義孝	TEL FAX ☒
	洋楽	7	山形センター合唱団	混声による演奏活動、マイソングの創作	南部公民館 総合福祉センター交流ホール 他	毎週火曜日 19時～21時40分	黒田	TEL FAX ☒
	洋楽	8	オペレッタ工房フェアリー・テイル	プロの音楽家によるレッスン	ピアノ教室アトリエ、コミセン等	週1回 60～90分程度	吉野 直子	TEL FAX ☒
美術	工芸	9	起世の部屋研究所	ちりめん、古布などを短冊や色紙に貼って押絵を制作	山交ビル8階会議室等	週1回 13時～15時	太田 紀世	TEL FAX ☒

令和7年度 山形市中学校総合体育大会における地域クラブ活動の参加について

○…地域クラブ活動の選手(団体)として参加できます。

×…地域クラブ活動の選手(団体)は参加できません。

団体競技	競技名	山形市中学校総合体育大会の参加について	山形県中学校総合体育大会の参加について
	軟式野球	×参加できません	○クラブ予選等で出場権を獲得した団体
	ソフトボール		
	サッカー		
	バスケットボール		
バレーボール			

個人競技	競技名	種目名	山形市中学校総合体育大会の参加について	山形県中学校総合体育大会の参加について
	陸上	個人	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人・チーム
個人(リレー)		○参加できません (*1)(*2)		
ソフトテニス	個人(ダブルス)	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人 ○クラブ予選等で出場権を獲得した団体	
	団体	×参加できません		
テニス	団体	×参加できません	×県中総体に当該競技はありません	
バドミントン	個人(シングルス)	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人 ○クラブ予選等で出場権を獲得した個人・団体	
	個人(ダブルス)	×参加できません		
	団体			
卓球	個人(シングルス)	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人 ○クラブ予選等で出場権を獲得した団体	
	団体	×参加できません		
体操	個人	×市中総体で当該競技は実施しません	○県中体連から承認された地域クラブ活動に 所属する全ての個人・団体	
	団体			
新体操	個人	×市中総体で当該競技は実施しません	○県中体連から承認された地域クラブ活動に 所属する全ての個人・団体	
	団体			
柔道	個人	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人 ○クラブ予選等で出場権を獲得した団体	
	団体	×参加できません		
剣道	個人	○参加できません (*1)	○市中総体で出場権を獲得した個人 ○クラブ予選等で出場権を獲得した団体	
	団体	×参加できません		
なぎなた	個人	×参加できません	×県中総体に当該競技はありません	
	団体			
水泳	個人	○参加できません (*1)	○市中総体で標準記録を突破した個人 ○「山形県短水路記録会」で標準記録を突破したチーム	
	個人(リレー)	×参加できません		

(*1)…山形市中学校体育連盟に加盟する学校の在籍生徒に限ります。

(*2)…次の条件を満たす場合に参加できます。

- 1) 部活動の設置がなく、メンバー全員が同一校に在籍している。
- 2) 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために充足したクラブ、地域移行の受け皿となっているクラブ」で、以下の条件のいずれかを満たした場合
 - a) 部活動の設置がなく、複数校の生徒で構成されている。
 - b) 部活動が設置されている場合は、部員数が4人未満である。

※山形市中学校総合体育大会に出場を認める地域クラブ活動の条件は、山形県中学校総合体育大会の規定に準じます。

※山形県中学校総合体育大会の規定(基本要項、各競技細則、申請手続き等)は、山形県中学校体育連盟のホームページで御確認ください。

※地域クラブ活動の選手(団体)として中体連主催大会に参加を希望する方は、在籍校及び所属する地域クラブと事前に相談してください。

令和7年度のもの

部活動について（地域クラブの中体連参加）

- 団体競技は県大会からのみ可能

ただし 予選等は競技によって異なる

個人競技は

水泳・陸上・剣道・柔道・バドミントン・ソフトテニス

は地区大会から可能

九中の部活動からでなく、クラブチームから参加する場合

申請書が必要となる

～山形市における部活動の地域移行・地域連携について～

令和8年度から休日の活動環境が変わります！

山形市では、**令和8年度**の中学校3年生が部活動から離れるタイミング（1・2年生が主体の新体制に切り替わる時期）で、**休日の部活動を地域に移行**し、休日の部活動は原則行わないようにしていきます。

ただし、上記のタイミングでの地域移行が困難な場合は、**地域連携の対応**をとるなど、地域の実情に応じて、可能な限り早期の地域移行を目指していきます。

令和8年度	現年度 (令和7年度)
中学3年生	中学2年生
中学2年生	中学1年生
中学1年生	小学6年生

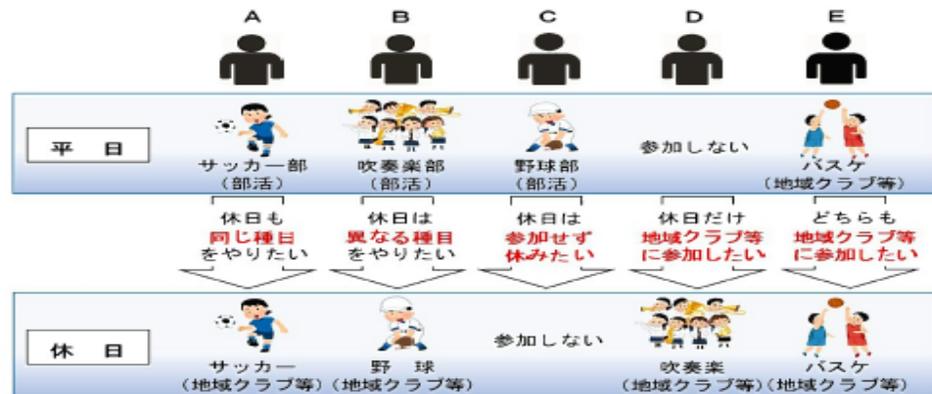
(1) 山形市の基本的な方向性

山形市における部活動の地域移行・地域連携の取組については、3つの基本方針があります。

- 方針1 生徒のニーズに応じた多様で豊かな体験の機会の確保
- 方針2 地域におけるスポーツ・文化芸術の振興
- 方針3 学校の働き方改革の推進による教育の質の向上

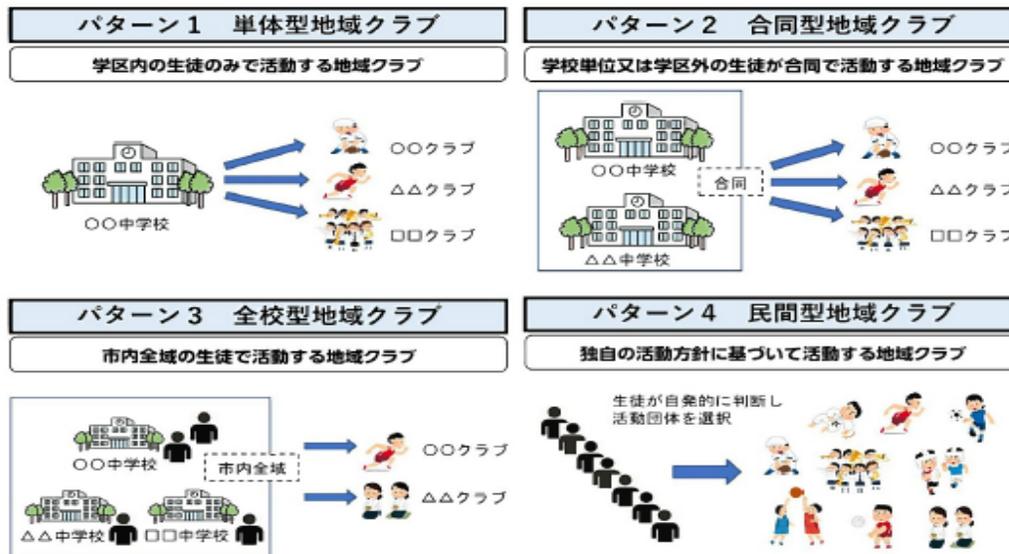
(2) 令和8年度からの中学生の活動イメージ

生徒の多様なニーズに応じて、A～Eのような様々な活動のパターンが想定されます。



(3) 想定される地域クラブのパターン

休日の活動環境には、パターン1～4のような様々な地域クラブが想定されます。



今後は、地域の多様な主体が上記のような地域クラブを新たに立ち上げたり、既存の地域クラブ等に活動の場を移行したりして、中学生の活動環境を整えていくこととなります。

(4) 部活動と地域クラブ活動の違い

部活動と地域クラブ活動では、項目ごとに以下のような違いがあります。

	部活動	地域クラブ活動
位置付け	学校教育の一環	社会教育の一環
運営団体	学校	総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、競技団体、文化芸術団体、地域団体、プロスポーツチーム、民間事業者、学校関係団体、地域学校協議本部、保護者会、同窓会等の多様な団体
指導者	教員、部活動指導員等	地域の指導者（一部教員の兼職兼業） 団体専任指導者等
参加者	学校に在籍している生徒	希望する全ての生徒
場所	主に学校施設、公共スポーツ・文化施設等	学校施設、社会教育施設（公民館等）、公共スポーツ・文化施設、民間施設等
費用負担	用具費、交通費等の実費	会費、用具費、交通費、保険料等の実費
補償	日本スポーツ振興センター災害共済給付（学校が加入）	スポーツ安全保険等（運営団体等が加入）

保護者のみなさまへお願い

③スマートフォン等のネット機器の管理について

- ・SNS関連のトラブルが後を絶ちません。

 - ネットの世界に大人と子どもの区別はありません。

 - 大人用のインターネット、子ども用のインターネットがあるわけでは
ありません

- ・保護者(家庭)での管理をお願いしたい 学校では管理できません

ペアレントコントロールなどの積極的活用を

ご家庭で子どもと話し合ってルールを決める

- ・学校への持ち込みはさせていません

- ・学校でも情報リテラシー・情報モラルの指導は行います。しかし、最後は保護者の責任のもとでの使用となります。ネットトラブルについては学校で解決できません

お願い 駐車場について

・学校敷地内は新校舎増築もあり、かなり狭くなっているため、ご遠慮いただいている
しかし今年度から

・学校行事(例 運動会やクマ対策での送迎場所など)でコパル駐車場を借用することがある。

ただし、事故等のトラブルを避けるため、駐車場係として本校教職員が対応する必要があるため、どの行事でも借用しているわけではない

お願い

・駐車場の場所は北側スペース、通行は一方通行にしている。(帰りは北側から抜ける)

→ メールや文書等でお知らせしているが、その約束を守っていただけない方がいる

→ コパル側からの注意がある

→このようなことが続けば、使わせていただきたいが、難しくなる

・学校取り付け道路の電話ボックス近くの空き地 所有者に許可をとり、使用している
事情がある場合はお互い譲り合って駐停車ください。(朝や放課後など)



教職員一同、責任をもって、大事なお子さま
をお預かりします。

来年度4月の入学を心待ちにしております。

ご清聴ありがとうございました。